保護者向け学校通信

創る



9/12の生徒下校後のグラウンド
つわものどもが夢の跡

令和８年
９月１５日（第１７号）
学校長　村松　章史

第65回　陵風祭

テーマ「Stardust」

一人ひとりの輝きを集めて

昨年度から暑熱対策のため、２日間に分けて実施している陵風祭。２学期が始まって本格化した取組でしたが、異常とも言える長雨により、グラウンドでの練習もなかなか確保できない日々が続きました。当日も不安定な天候の影響のため予定を変更し、９月11日に学芸の部を、12日に体育の部を行いました。保護者のみなさまにも、予定変更に伴いご心配やご負担をおかけしました。

生徒たちは急な予定変更の中でも、陵風祭のテーマや目的に基づき、精一杯のパフォーマンスを見せてくれました。現在、アンケートを受け付けております。お寄せいただいた声を、来年度の陵風祭に向けて参考にさせていただきたいと思います。本号では、現在までに寄せていただいたアンケートから、生徒へのねぎらいや励ましの言葉を掲載させていただきます。

※一部抜粋。表記は原文のまま

○市中の絆を深く感じることができた学園祭でした。子どもたちの生き生きとした表情、堂々とした姿もとても印象的で感動しました。

○雨が降らず無事に実施できてよかったです。子供達の普段見れない姿が確認出来ました。

○演劇は全学年が命や平和について、とても難しい題材にもかかわらず、それぞれが真摯に向き合っている様子が随所に見られ、私自身いろいろと考えさせられました。



○生徒の皆さんの熱量が素晴らしかったです。生徒会をはじめとする各部門でそれぞれの役割を見事にやりきった全校生徒の皆さん一人ひとりがスターだと感じました。

○学校全体がとても活気にあふれていて、子どもたちが楽しそうに過ごしている姿が印象的でした。

○学校で楽しくやっている様子が伝わり、素直にとてもうれしく思いました。それぞれの個性と感性、パワーが集まるとこんなにも大きなものを成し遂げるのだということに感動しました。

○本番が近づくにつれて緊張からか家でも練習の様子を話してくれたこともありました。子供たちなりのやる気に先生方がガッチリ向き合ってくださったお陰で、素晴らしい陵風祭となり、子供たちの充実した表情が生まれたのだと感じました。

○一年生の劇は緊張感ある中で協力しあい頑張ってる姿がとても印象的でした。

○２年生の劇を見て「戦争は現実で起こっていて、日本でも再び起こりうるもの」という事を改めて痛感しました。

○三年生の劇はやはり完成度の高さから観入ってしまいました。命の大切さが在校生にも伝わったんじゃないかなと感じます。



〇本当にお疲れ様でした！　「今しかない瞬間」をありがとうございました。
〇全校合唱も、市川中は本当に歌声がきれいでした。いい経験と思い出を大切に中学校生活にいかして、これからも楽しく過ごしてもらいたいです。子供達の成長をみることができました。
〇吹奏楽の演奏に毎年楽しませてもらっています。これからも頑張ってください。
〇短い練習時間の中で、これだけのことが出来るなと思って感心しました。
〇体育の部、見ているこちらも熱くなって見応えありました。先生方の盛り上げがよくて、みんな爽やかで楽しそうで青春って感じでいいなぁ！と思いながら見てました。

たくさんのお声をいただきありがとうございます。生徒たちだけでなく、教職員へのねぎらいもいただき感謝しております。ここには掲載していないご要望事項等もお寄せいただいていますので、ＰＴＡの会議等を通じ共有させていただくと共に、来年度に向けた検討とさせていただきます。



陵風祭期間を通じて、様々な面で生徒そして学校を支えていただき、本当にありがとうございました。頼れる３年生、リーダーに学んだ２年生、果敢に挑んだ１年生、それぞれの努力と成長が何よりの成果です。努力によって得られた最大限の輝きが、今後の財産になっていくことを願います。